

中小企業のための 自己点検チェックリストについて

はじめに

このチェックリストは、中小企業の皆様が、自社で個人情報を安全に取扱うためのルールや体制の有無について、自己点検を実施するための参考資料です。

個人情報の安全管理に取り組むための第一歩として、まずは自社の状況を把握するためにご利用ください。

チェックがつかない項目について、適切な措置を講じていただく必要があります。



留意事項

事業者において、個人情報の利活用が進んでいる一方、**消費者等の個人においては、個人情報の保護への関心が高まっている**ことなどから、個人情報を適切に取り扱うための体制を整備する必要があります。

また、**個人情報を安全に取り扱う上で社内のルールの作成も必要**です。ルールを整備する際の参考資料として**個人データ取扱要領（例）**を公表していますので、ご確認ください。

なお、会社の規模、業種、組織体制、個人情報の種類等によって、行うべき安全対策は異なりますので、ご注意ください。

※1 自己点検にあたっては、取扱う個人データの内容、数、取扱部署の確認を行うことも重要です。

※2 このチェックリストの手法例は、個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）「10（別添）講ずべき安全管理措置の内容」の「中小規模事業者における手法の例示」（※3）を参考に記載しています。中小規模事業者に該当しない事業者においては、一般事業者向けの「手法の例示」を参照していただいた上でご利用ください。

※3 「中小規模事業者」とは、従業員の数が100人以下の個人情報取扱事業者をいいます。ただし、次に掲げる者を除きます。

- ・その事業の用に供する個人情報データベース等を構成する個人情報によって識別される特定の個人の数合計が過去6月以内のいずれかの日において5,000を超える者
- ・委託を受けて個人データを取り扱う者